

令和2年度 山口県立防府高等学校 部活動運営方針

1 ねらい

- (1) 異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図る。
- (2) 学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養を図る。
- (3) 興味・関心を同じくする異年齢集団における活動を通して、リーダー性、協調性等の社会性を育む。
- (4) 生涯にわたって運動文化・芸術文化に親しもうとする態度や、その基礎を養う。

2 活動内容

(1) 運営について

- ① 顧問、学級担任、保護者等が連携し、円滑な運営を心がける。
- ② 必要に応じて部活動顧問会議等を実施し、部活動運営における意思の疎通に努める。
- ③ 必要に応じて部長会議、部活動集会等を開催し、努力目標などの共通化・意識化を図る。
- ④ 必要に応じて部活動懇談会を開催し、保護者と顧問による円滑な運営について共通理解を図るように努める。
- ⑤ 部活動全体の推進を図るため、校内に文化部総顧問、運動部総顧問を配置する。

(2) 活動について

- ① 活動方針、活動計画等に沿って、計画的に活動する。
- ② 活動計画は、事前に作成し、生徒及び保護者等に周知する。
- ③ 原則として、顧問がついて指導にあたる。(出張等で不在の場合は、責任の所在をはっきりさせる)
- ④ 安全管理には十分留意した活動を行うとともに、怪我等が起きた場合は、速やかに処置を行い、適切に対応する。
- ⑤ 使用する設備の点検及び整頓・清掃、校舎の施設等は顧問が責任をもって行う。

(3) 休養日について

- ① 学期中は、原則、週当たり2日以上休養日を設ける。(平日は1日、週末は1日以上。)
ただし、一時的に週当たり2日以上休養日を設定しない判断をした場合は、週当たり1日以上休養日(週末のいずれかは原則として休養日に当てること)を設ける。その際は、生徒の能力・適性や、健康・安全に十分配慮することとし、他の期間において適切な休養日を設定する。
週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。
- ② 長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。また、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける。

(4) 活動時間

- ① 1日の活動時間は、原則、長くとも学期中の平日は2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする。
ただし、原則を超える場合でも、合理的でかつ効率的・効果的な活動に努める。
- ② 考査発表日から考査終了まで、原則として部活動は休止する。
ただし、考査終了日から2週間以内に大会等がある場合は、生徒に過度の負担とならないように配慮しつつ1時間程度実施することができる。

(5) 入部・転部・退部について

- ① 入部は希望制(任意加入)とするが、部活動の目的・方針を踏まえ積極的に入部を促す。
- ② 1年生は自らの適性を考慮し、3年間続けられる部を選択する。
- ③ 原則として3年間同一の部で活動するものとする。
- ④ やむを得ない転部・退部は顧問・担任・家庭との十分な話し合いの上、決定する。
- ⑤ 社会体育団体・社会教育団体に所属する生徒も、希望があれば入部できる。

3 その他

- (1) 防府高校の運動・文化部部員としての誇りをもって、校内外で品格のある行動に努める。
- (2) 地域から応援される部活動を目指す。
- (3) 各部が個別に徴収する部費等については、保護者等に対し、決算報告等を行うものとする。